

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名		指定工事業者指導管理事務					事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	050501000117
総合計画の施策名		0505 下水道の整備					単独/補助	単独	所属課	070101 下水道課
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり							課長名	
施策名		05 下水道の整備							グループ	下水道G
手段名		01 ①下水道の接続と浄化槽の設置							担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (平成17年度~)		
法令根拠						桜川市下水道条例				
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<ul style="list-style-type: none"> 桜川市下水道条例に基づき、排水設備主任技術者の資格を有する排水設備工事指定工事店の登録を行う。 排水設備主任技術者の試験、登録、更新の受付を行う。 排水設備の設置申請受付及び確認事務を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 指定工事店申請、登録手数料 (新規・更新) -受付・内容点検-指定工事店登録-登録書交付 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
指定工事店申請、登録手数料の受付、交付、指導管理、窓口業務の協会の代行	指定工事店新規登録及び更新件数	件	19.00	13.00	10.00	10.00	0.00
	排水設備主任技術者受験者及び更新者数	人	6.00	29.00	15.00	15.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							
⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)							
指定工事店	下水道指定工事店	件	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
			124.00	125.00	120.00	120.00	120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							
⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)							
一定の水準の技術を身に付けてもらう、試験により資格を保有できる。	確認時の指導件数	件	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
			1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)		02年度 (実績)		03年度 (計画)		期間限定 総投入量	
投入	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			0
		県支出金	千円	0	0	0			0
		地方債	千円	0	0	0			0
		使用料・手数料	千円	115	75	90			0
		その他	千円	0	0	0			0
		一般財源	千円	-115	-75	-90			0
		事業費計 (A)	千円	0	0	0			0
量	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				
02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)						
合計			0			合計 0			

事務事業名	指定工事業者指導管理事務	事務事業No.	50501000117	所属課	下水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 下水道供用開始当初から、指定工事店の指定・更新の事務を行っている。 平成17年10月の合併以後は制度として公共下水道の指定工事店になれば、自動的に農業集落排水事業の指定工事店になるようにしている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地元業者育成に役立っているとの意見がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 宅地内配管の適切な敷設及び管理は、生活環境・水質の改善に寄与する点において、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 宅地内配管の敷設・管理を行う事業所を管理・指導するため、必要な事業である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 指定業者に対する適切な管理指導を継続する。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 主任技術者が配置されていない、業者による施工が行われ、市の基準を満たさない施工や、無断接続などが発生する心配がある。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 統合の余地はない
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 登録手数料が事業費を上回っている。登録申請受付等に必要最低限の業務時間で実施している。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 登録された業者の中から、住民が工事を依頼できるため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 今後も指定工事店の適切な管理を継続していく。																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	X																	
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	